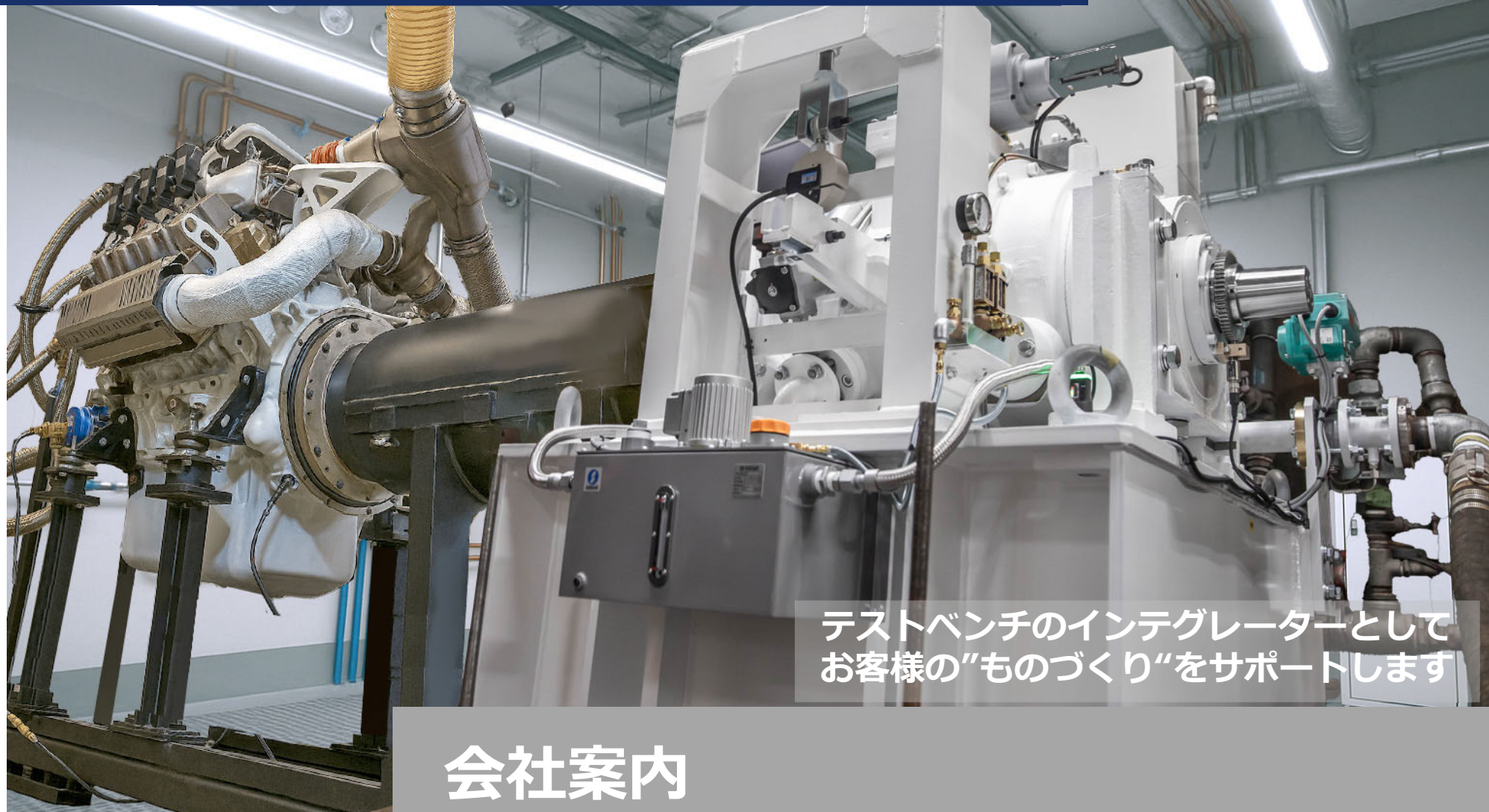


~Advanced Test System and Test Bench Engineering Professional~

Tokyo Plant Co., Ltd.



テストベンチのインテグレーターとして
お客様の“ものづくり”をサポートします

会社案内

お客様をはじめとする多くのステークホルダーの皆様のご愛顧とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

弊社は1948年の創業期より77年間、長年に渡りエンジンとドライブトレイン向けのテストシステムの研究、開発、設計、製造、販売をグローバルに展開しております。

現在はパワートレインエンジニアリング事業（エンジンとドライブトレインの受託試験）と、テストベンチエンジニアリング事業（主にテストシステムの提供）の2つの主要事業で成り立っております。

特に昨今はカーボンニュートラルとSDGsの背景もあり、グローバルマーケットの自動車、産業機器分野において、環境負荷低減技術の研究・開発と生産への投資が盛んになっております。こういった中、多くのお客様から高度なテストシステムのご要求が増えております。弊社は自社、及び業務提携先との連携体制により、従来からあるエンジン（内燃機関）、ドライブトレインだけではなく、水素・水素混焼、電動化をはじめとするエネルギーの多様化への対応に追従しており、お客様の『新たなものづくり』の研究、開発から生産に必要な、仮想テストシステムと実機テストシステムも提供できます。

また人的資本経営を軸足として、全ての技術やソリューションの起点となる人材育成、人材マネジメントにも力を入れております。

今後も『お客様のものづくり』の価値を高め続けるべく、これまで以上に深くお客様の理解を深めて貢献していきたい所存で御座います。引き続き、皆様の暖かいご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

○経営者の自己紹介（2025年1月末現在）

- ・生年月日：1974年8月11日（50歳）
- ・出身地：東京都
- ・専門分野：マネジメント、新規事業開発、マーケティング、セールスエンジニア
- ・趣味：キックボクシング、サッカー、サーフィン、ギター、料理、読書、週末農業
- ・乗物免許：自動車、2輪車、小型船舶2級、水上オートバイ

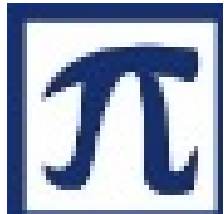
経営者略歴）

- ・2009年1月：現職に就任
- ・2023年3月：グロービス経営大学院（MBA）卒業
- ・2024年1月：ビジネススクール スタートアップ・アドバイザー・アカデミー（SAA）卒業（守屋賞受賞）
- ・2024年7月：子会社 Tokyo Plant SENEGAL-SARL CEOを兼任
- ・2024年12月：G2プロジェクト参画
長岡技術科学大学 大学院 博士課程にて特別講師として講義



東京プラント株式会社
代表取締役 兼 CEO
田中 清弘

多くのステークホルダーの皆様に支えられ、お陰様で創業78年目になりました。



当社のロゴの由来

- 無限大の可能性を広げる
- 人と技術の両輪で支える

当社の歴史とストーリーの始まりは、エンジン開発が原点です。



創業者：田中 清史

昭和11年3月 北海道帝国大学 工学部機械科を主席で卒業

昭和11年4月 中島飛行機株式会社 入社

様々なゼロ戦や爆撃機富嶽のエンジン設計に携わる
(富嶽ではエンジン設計の主担当)

昭和20年12月 中島飛行機株式会社 退社

昭和23年11月 株式会社大久野製作所を創業 (現 東京プラント株式会社)

平成元年2月9日 他界



エンジンのロマン



さらば空中戦艦 富嶽
幻のアメリカ本土大空襲



富嶽の計画図(当社内保管)



2つの主要事業

2つの事業シナジーにより、お客様の製品理解、またコアコンピテンシーとなる回転機械、システムインテグレーション技術の向上を続けております。

-Power Train Engineering- パワートレインエンジニアリング事業

- エンジン受託開発
- エンジン受託試験
- コンサルティング



-Test Bench Engineering- テストベンチエンジニアリング事業

- モータ、内燃機関向け試験装置
- モータ、内燃機関向け計測システム
- ターンキー・ソリューション



当社の製品とサービスは多くの事業分野のお客様に長年ご利用いただいております。



Passenger car



Truck



Motor cycle



Construction



Agriculture



Marine



Genset



Turbine



Defense



Helicopter



VTOL/Drone



Aviation

納入実績（敬称略）

自動車・2輪

- YAMAHA
- SUZUKI
- HONDA
- TOYOTA
- NISSAN
- SUBARU
- ISUZU
- HINO

Tier X

- AISIN
- 豊田自動織機
- DENSO
- 曙ブレーキ工業
- 三ツ星ベルト
- バンドー化学
- 江沼チェン
- エムケーカシヤマ
など

産業機器

- コマツ
- クボタ
- ヤンマー
- IHI
- ダイハツディーゼル
- 三菱重工業
- 川崎重工業
- 日立製作所
- 神崎高級工機製作所
- 三井造船E&S
- ジャパンハイドロ
など

他カテゴリー

- レーシングチーム
- 各大学、各工専
- JAXA
- 防衛省（自衛隊）
- 各研究機関
- 試験装置メーカー

海外

- アジア
- アメリカ
- 欧州
- 中東
- ※40か国以上

合計 約500社
2025年6月末現在

東京本社を中心に関西、東海地区に事業所があります。

○本社及びテクニカルセンター

〒196-0024 東京都昭島市宮沢町515-5

TEL : 042-546-6500

FAX : 042-546-6600

URL : <http://www.tokyo-plant.co.jp/>

e-mail : sales@tokyo-plant.co.jp

○西日本営業所（サテライトオフィス）

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4

大阪駅前第4ビル20階パートナーズオフィス内

e-mail : sales@tokyo-plant.co.jp

○富士テクニカルオフィス

〒410-1312 静岡県駿東郡小山町竹之下2776-11

e-mail : sales@tokyo-plant.co.jp

○富士テクニカルセンター

〒410-1312 静岡県駿東郡小山町菅沼855-1

e-mail : sales@tokyo-plant.co.jp

○中・大型製品工場(東陽機械株式会社内)

〒410-0022 静岡県沼津市大岡1749-32

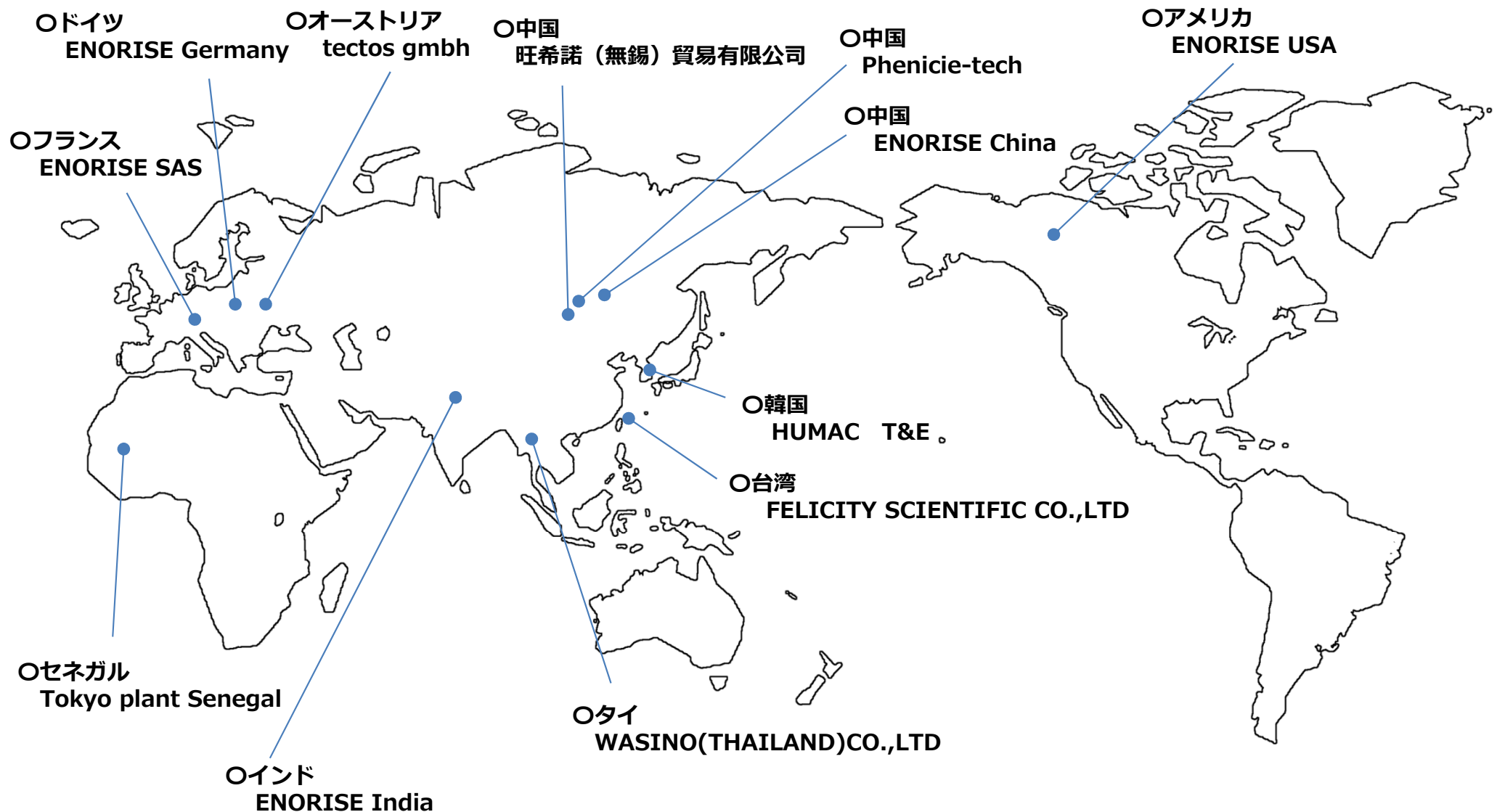
e-mail : sales@tokyo-plant.co.jp

○関西テクニカルオフィス

〒590-0974 大阪府堺市大浜北町2-1-7 1415

e-mail : sales@tokyo-plant.co.jp

ENORISE社のネットワークを中心に10か国以上に販売、アフターサービス網を展開しています。



組織とマネジメントチーム

経営管理部の3名のチームで、異なる専門領域を補完しあい会社全体の運営と経営戦略の立案を実施しています。
技術は人財により確立されるため、会社全体のチーミングと育成に注力をしています。

経営管理部 マネジメントチーム



代表取締役社長 兼 CEO
田中 清弘
主な担当領域)
➢経営戦略、新規事業ローンチ
➢組織開発、人材開発
➢オペレーション



テストベンチエンジニアリング
事業部 事業部長
鍋島 俊人
主な担当領域)
➢マーケティング、R&D
➢事業戦略、コンサルティング



管理部 部長
荻堂 友希子
主な担当業務)
➢ファイナンス
➢アカウンティング
➢オペレーション

現在約40名のチームです。業務拡大に伴い増員中です。
当社のビジョン、ミッションに共感して頂けるエンジニアを募集しています。

当社製品の研究開発、生産拠点です。

工場内



製品出荷用テストベンチ



ロケーションと主たる機能



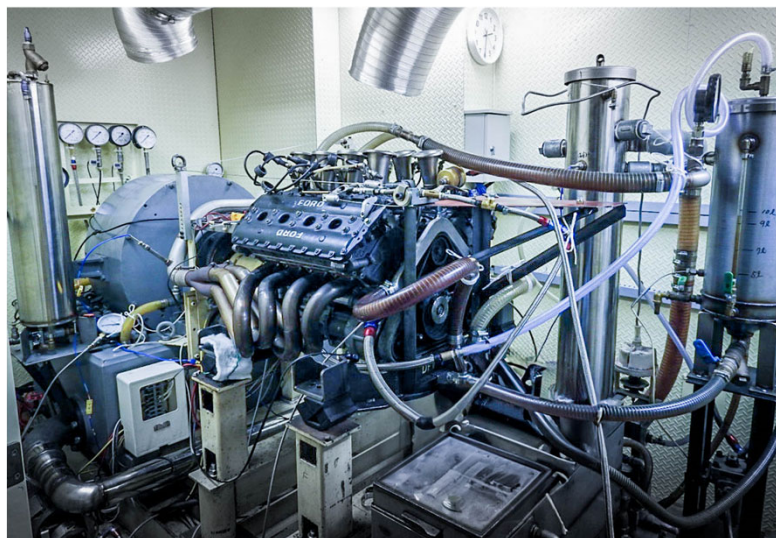
当社の本社工場では多くのエンジニアが勤務しており、研究開発、設計、そして小型から中型のダイナモメータ、試験装置を主に製造している重要な拠点です（大型は静岡県沼津市の提携工場で製造）また製品出荷用のテストベンチを有しており、実機試験にて製品の品質検査を実施しています。またR&D活動にも活用しています。所在地は東京の多摩地区の昭島市で中央道八王子市ICからすぐのロケーションで、工業用水が綺麗なことでも有名です。

お客様向けのエンジン受託試験、自社製品の研究開発の実験棟です。

実験棟



テストベンチ



ロケーションと主たる機能



お客様向けにエンジン・車両の受託試験、受託開発を提供しています。
多くの種類のエンジン性能の向上に寄与します。

（ガソリン、軽油、電動モータ、水素エンジン、バイオ燃料など）
特に近年開発投資が盛んな水素エンジン（水素ガス）の試験が
実施できる国内でも数少ないテクニカルセンターとなっております。
所在地は静岡県小山町で、レースの聖地である富士スピードウェイ
からすぐのロケーションです。

お客様のエンジン・車両の受託試験、受託開発を実行します。

事業概要

カーボンニュートラルによるエネルギーシフトで、多くの自動車メーカー様、エンジンメーカー様が従来の内燃機関だけではなく、BEV、FCVの研究開発の強化、また仕向地による適合作業などお客様の業務量は日々大幅に増加傾向にあります。

そのため自社のリソース確保、集中投資、開発の委託ニーズがさらに高まっておりますが、弊社はエンジン受託試験を実施しており、研究開発のパートナーとしてお客様のニーズに対応できます。



お客様のベネフィット

開発・実験のアウトソーシングにより

- ☑ テストベンチ導入コストの削減
- ☑ テストベンチのランニングコストの削減
- ☑ コア業務の人員、予算などのリソース確保
- ☑ 開発実験コストの削減が可能

事業コンテンツ

- エンジン（内燃機関、電動モータ 等）開発サポート
- エンジン（内燃機関、電動モータ 等）受託試験
- 車両開発サポート
- 車両部品製作

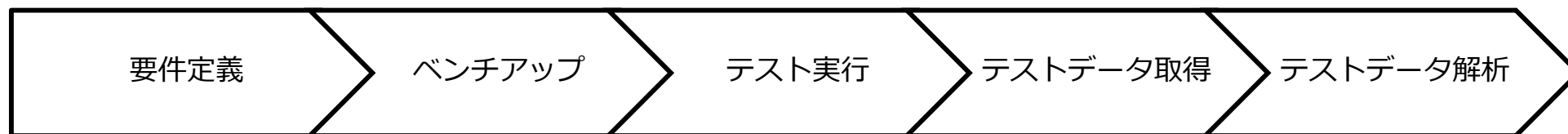


お客様の研究開発のパートナーとして、幅広い業務に対応します。

ソリューション

お客様の手を煩わせることなく、プロジェクトの要件定義の決定からテストデータ取得、解析までスムーズに実行ができます。

○実行可能なこと（受託試験での事例）



○エンジニア

- エンジン整備士、自動車整備士所有者
- テストエンジニア
- 適合マネジメント経験者、適合業務経験者
- 認証試験経験者など



○お客様の辛い所に手が届きます！

- 車両からエンジンを降ろす作業
- エンジン保管
- 燃料保管
- エンジン設置（アライメント調整を含む）
- 治具製作（カップリング、エンジンマウントなど）
- 冷却配管、燃料配管設計、製作、施工
- ワンオフ・マフラー製作
- センサー類の取り付け
- ハーネス類の取り付け
- エンジンオーバーホール
- CAN通信プロトコル解析、疑似信号送信

お客様の要件定義と供試体の諸元に合わせて、最適な試験環境を提供します。

テストシステム



お客様のエンジン試験を実行するために、様々な計測システムを有しております

- ダイナモメータ：2.2kW～400kW
 - ENORISE社製オートメーションシステム MORPHEEE、
 - HORIBA社製 排出ガス分析計
 - ENORISE社製 燃焼解析システム OSIRIS
 - SOKKEN社製 吸気流量計
- など

お客様の試験要件や供試体の諸元に合わせて、テストベンチをフレキシブルに都度構築します。

水素エンジンへの対応

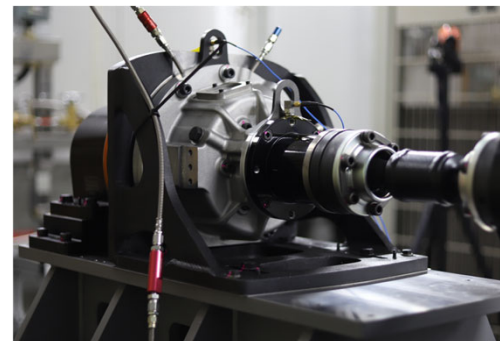
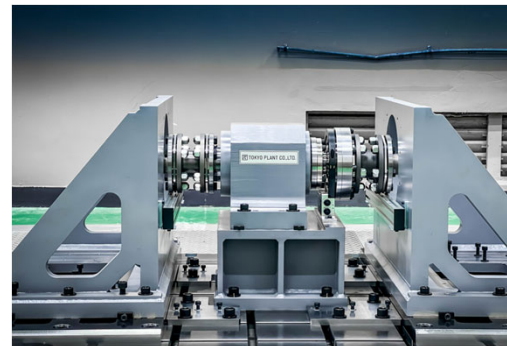


弊社はOEMメーカー様等を除き、国内では水素エンジン試験が実施できる数少ない企業の1社です。
最大約3,000m³の水素ローリーの設置（ローリーからの供給圧19.6MPa）ができます。
またエンジンベンチに対しては10MPa以下の範囲で供給圧を調整でき、多くの種類のエンジン試験に対応が可能です。テストベンチ室も防爆仕様となっており、安全性の確保も出来ております。

あらゆる種類の供試体の試験に適した製品とソリューションを提供します。

事業概要

回転機械の技術、高度な計測技術をコアコンピテンシーとして有しています。
これらを軸足とした幅広いラインナップのテストシステムを提供しております。
またテストベンチ全体のインテグレーションを得意としており、お客様の供試体の試験実行に
最適な環境を構築いたします。



プロジェクトの計画段階からアフターサービスまで一貫してサポートします。

インテグレーション

私共のエンジニアがお客様のプランニングのフェーズからプロジェクトに参画します。
要件定義書、要求仕様書の作成サポート、またこれらに準じて製品設計、製造、コミッションニング、
納品までをシームレスに対応をさせていただきます。
納品後も迅速なアフターサービスで対応をいたしますのでご安心下さい。

プランニング



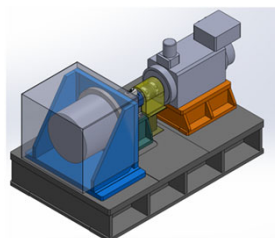
要件定義、ご要望やご要求をお聞かせ下さい。
ご予算や試験に応じて様々な提案が可能です。
またお客様のプロジェクトのGOALを共有し、成功に向けてお手伝いをさせていただきます。

ご契約



製品の製作仕様書、サービスの要件定義、プロジェクトの金額などの確定後、ご契約手続きとなります。
お客様のご要望されるスケジュールに合わせて、綿密にプロジェクトを推進させていただきます。

設計・製造



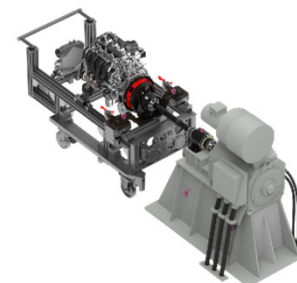
お客様からの要件定義、機能、品質要求などを満たすべく、厳格な納期と安全管理の下、製品の製作を進めさせていただきます。

納品 付帯工事



梱包後、トラックで荷崩れが起きないように細心の注意を払って納品を致します。

コミッションング ご検収



据付、配管、配線などのエンジニアリング作業

またお客様のテストベンチ内で再現試験と最終調整を実施します。

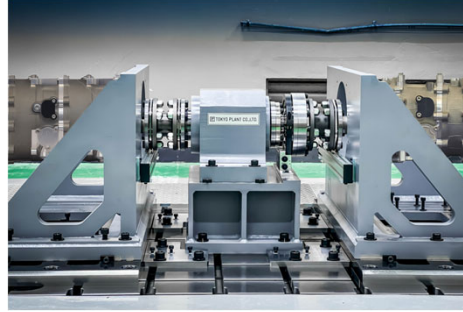
アフターサービス



製品納品後も長期間サポートをいたします。
全国どこでも迅速に対応をします。
また製品の拡張提案、メンテナンス計画の立案のサポートをいたします。

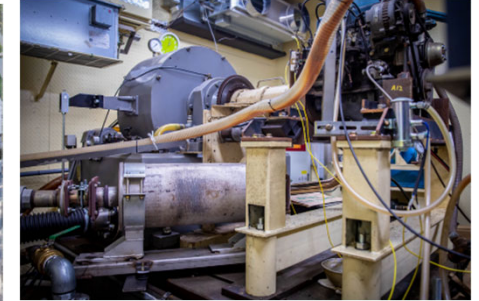
多くのソリューションで、エンジン、ドライブトレインの研究開発～量産の各フェーズの試験に対応します。

モータベンチ



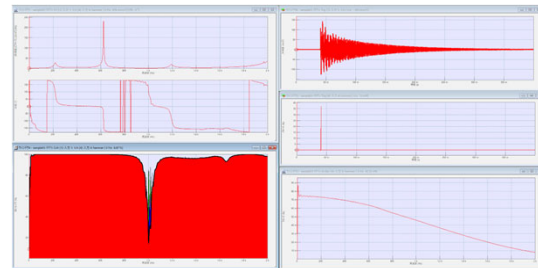
お客様の供試体、試験条件、ご予算に合わせて最適なモータベンチシステムを柔軟に提案をさせて頂いております。
高速回転、高トルク、バーティカルタイプ、Back to Backなど様々な種類のモータベンチの提供ができます。

エンジン・テストサービス



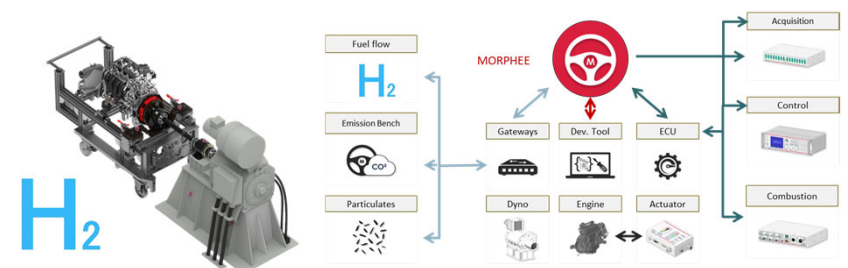
2.2kW～700kWのエンジン試験まで対応ができます。
特に国内では数少ない水素エンジン試験の環境があります。
水素ガスの最大供給圧10MPa、また水素ガスはボンベではなくローリーから供給できるため、耐久試験の対応も可能です。

振動計測ソリューション



お客様のテストベンチでの振動問題に対してソリューションを提供します。機械の振動計測、解析、評価を請け負い問題を解決します。
FFT分析、伝達関数測定、回転トラッキング解析など多岐にわたる計測、分析、評価に対応をしています。

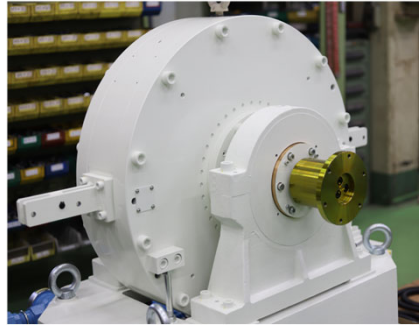
水素エンジン テストシステム



近年注目の水素エンジンのテストシステムのコンサルティングからソリューション提供まで対応をしています。特に当社の強みであるオフロードマーケット向けの大型エンジン（水素、水素混合）での実績が多数あります。またパワートレインエンジニアリングで培ったノウハウあり、お客様の開発の効率化の向上に寄与します。

多くのソリューションで、エンジン、ドライブトレインの研究開発～量産の各フェーズの試験に対応します。

エンジンダイナモメータ



販売累計台数3000台を突破。抜群の信頼性を誇ります。
2.2kW～20,000kWの出力レンジにも幅広く対応ができる
国内唯一の老舗メーカーです。
あらゆるパワートレインとドライブトレインの評価に対応します。

カップリング、ダンパー



テストベンチに高性能なカップリング、ダンパーを設置することで
振動低減、共振回避、またアライメント工数の削減に寄与します。
最高回転数は30,000rpm以上も対応しています。

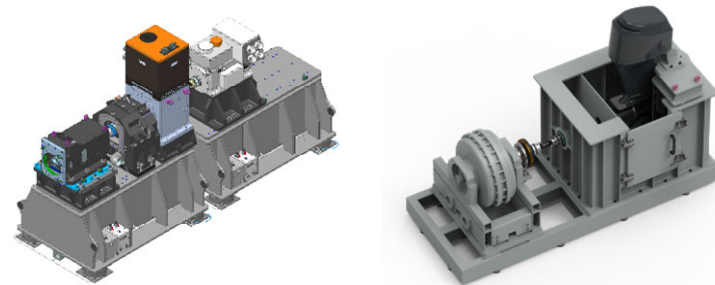
オートメーションシステム



世界で販売ライセンス数5000セットを誇るMORPHEE（モーフィー）
オートメーションシステムです。
モデルベース開発から実車試験まであらゆるフェーズに対応し、
お客様の開発工数とコスト削減に寄与します。

※MORPHEEの開発、販売元はENORISE社となります

特注テストシステム



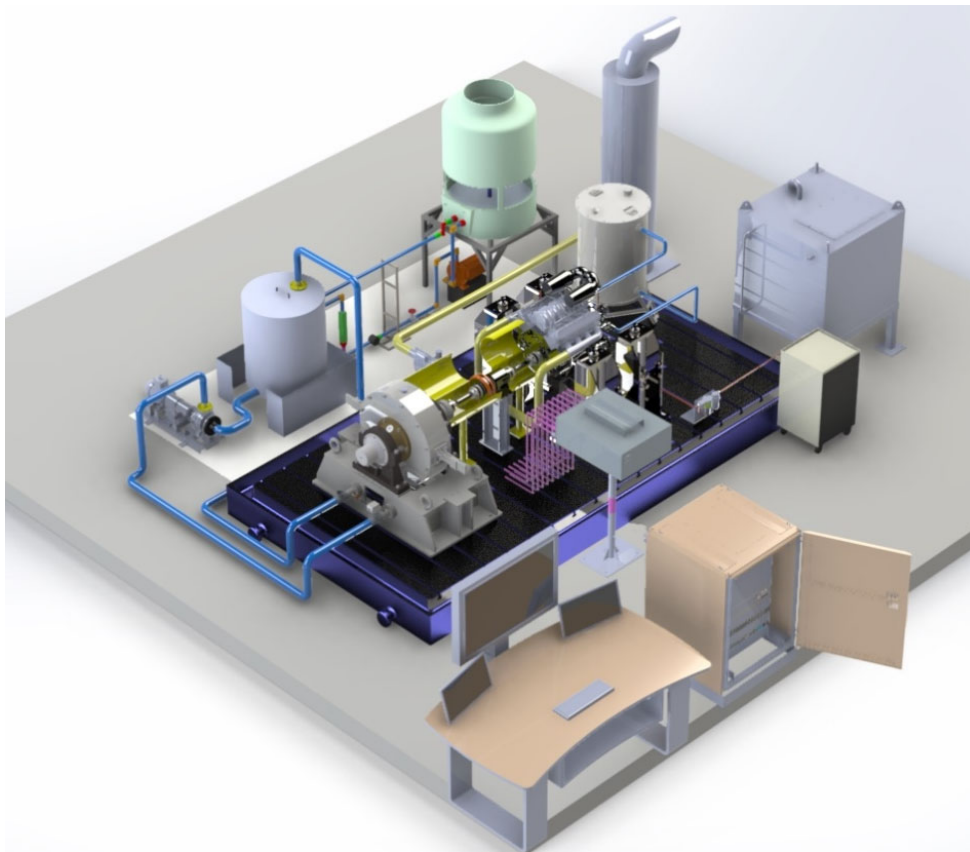
お客様のご要望に合わせて完全オーダーメイドにて製作します。
船外機、各種コンポーネント用の特注仕様のテストシステムなどの
提供ができます。
また既設の内燃機用のテストベンチに高速仕様の増速機を設置し
モータベンチに改造する提案も可能です（～35,000rpm）

日常の研究開発、実験に追われて時間がない、開発側にマンパワーのリソースが割かれて設備担当者の業務負担率が高く、多くの業務のアウトソーシングが必要なお客様などに最適なソリューションです。

セミ・ターンキーソリューション

お客様の計画段階から参画します。

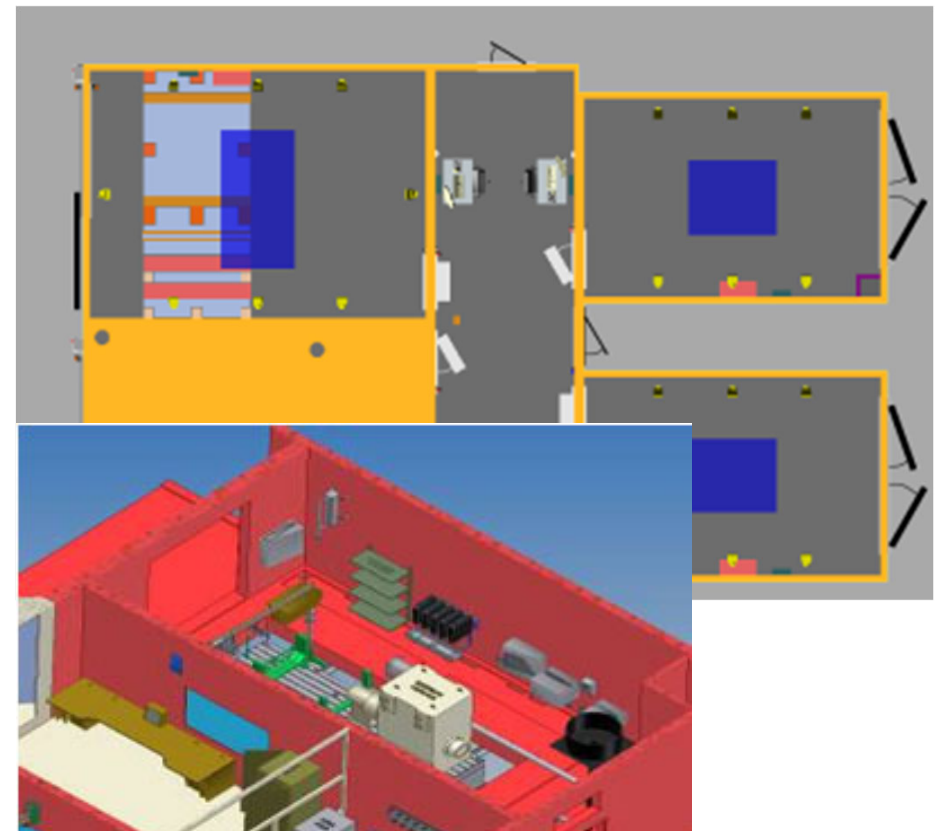
サードパーティーと連携し、実験棟全体の最適化の提案が可能です。



フル・ターンキーソリューション

お客様の計画段階から参画します。

テストベンチ全体の最適化の提案が可能です。



沿革

○1948年：創業期

創業以来、創業者の田中清史の卓越した技術力を駆使し、本邦初の土質試験機（東京大学研究室の学生のバックアップ）の製造を開始。更に、工業技術院と共同開発した定速式摩擦試験機（現在でもJIS-D4411として、JISの規格の原型となっている）を製造及び販売を開始。



創業当時の本社工場



定速度式摩擦試験機

○1950年代：ビジネススタート

NS無段変速機を開発。本品を装備した燃料噴射ポンプテストター等を製造。関連商品のクランプ型油面計、インデックスハンドル等の開発販売を開始。文部省の提唱による工業高校の産業振興策により、タナカ式水動力計、渦電流式電気動力計を組み合わせた内燃機関実験装置等を、幅広いエンドユーザーに多数納入。



NS無段変速機の展示会



水動力計の展示会

○1960年代：事業拡大

昭和44年に 東京発明展にて、東京都 知事賞を取得。また、昭和47年には、還流水による直接制御法の水動力計を開発。褒章の条例により、内閣総理大臣（田中角栄氏）より、紫綬褒章を頂戴した。高速型水動力計、ポータブル型水動力計、渦電流式電気動力計を次々と開発。優秀なる製品を世に送り出し、多くの特許、実用新案取得。特に、タナカ式水動力計は、国内のみならず、海外市場でも高い評価を受け、納入累計台数は1300台を突破した。



紫綬褒章の賞状とメダル



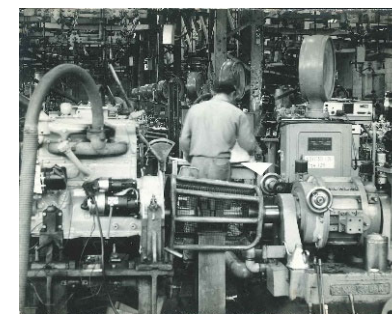
米国特許（当時）

○1970年代：製品ラインナップの拡大

動力計関連製品である、シャシーダイナモメータ、可搬式エンジンテストベンチ及びソフトウェアを用いた自動計測、自動制御装置を開発し、多数のエンジン、モータ変速機、ベルトチェーン等のメーカーの生産ライン、試験研究部門等に納入。タナカ式水動力計は国内トップシェアを取得。エンジン関連の技術書籍でも紹介されるようになった。



ヤンマー様のエンジン生産ライン
（当時）



ISUZU様のエンジン生産ライン
（当時）

沿革

○1980年代：2代目体制

代表取締役 田中清史が健康上の理由で退任。

取締役営業部長 田中清風が代表取締役に就任。

本社を、武蔵野市境南町4丁目16番9号エクセルハイツへ移転。

商社を介して東南アジア、東欧圏への積極展開を開始。



クボタ様のタイ工場
エンジン生産ライン（当時）



東欧圏への大量輸出（当時）

○1990年代：新しい自社工場・社屋

東京都昭島市宮沢町515-5に、本社工場を設立。

生産台数の増加、品質体制の強化でマーケット拡大へ向かう。



新工場の竣工式

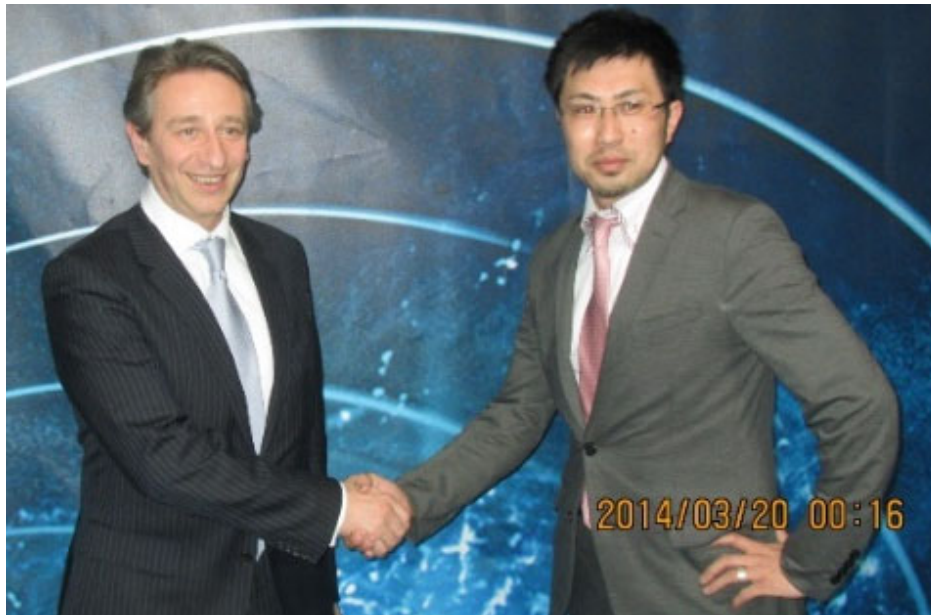


新工場の写真

沿革

○2000年代：3代目体制 ビジネスの拡大、欧州との提携

- 2009年1月 代表取締役 田中清風が健康上の理由で退任。取締役会長職に就任。
取締役 田中清弘が、三代目代表取締役に就任。
- 2009年8月 株式会社TYK社とDPF性能評価試験事業において、業務提携。
- 2010年4月 事業の多角化により、商社事業部を設立。独立採算制の事業部制へ移行。
- 2011年1月 フランスD2T社と代理店契約を締結（日本、タイ、マレーシアなど）
オートメーションシステム MORPHEEをはじめとする、D2T社製品の販売をスタート。
- 2013年5月 経済産業省にパワートレーンエンジニアリングに関する事業計画が認められ、
『平成24年度 先端設備投資促進事業費補助金』を採択（中小企業ではトップクラスの金額）
- 2013年12月 商社事業部の各事業を分割し、各社へ事業譲渡、及び売却。
- 2014年5月 子会社設立。会社名 D2T JAPAN株式会社。（フランスD2T社との合併会社）
オートメーションシステム、シミュレーションツール、ACダイナモメータ等の本格販売をスタート。



フランスにて、合併会社D2T Japan株式会社創業の記念写真



人と車のテクノロジー展

沿革

- 2015年4月 東京都知事より、東京都経営革新の計画の承認を頂く。
- 2016年2月 オーストリア TECTOS社と業務提携 テストベッド用のドライブシャフトの販売をスタート。
代表取締役の田中がTECTOS ASIA代表も兼任
- 2016年6月 ドイツFEV社が提携先D2T社を買収したことにより、子会社D2T JAPANを閉鎖。
- 2016年9月 FETパワークラフト社とエンジン受託試験事業において、業務提携。
- 2017年6月 FEV JAPAN社と代理店契約を締結。
- 2019年6月 大阪府に西日本営業所としてサテライトオフィスを開設
- 2019年12月 会長の田中清風が引退 （2021年3月29日：他界 享年78歳）



人と車のテクノロジー展



会長の退官式

沿革

- 2020年2月 エンジン受託試験事業をパワートレインエンジニアリング事業部に名称変更
- 2022年3月 静岡県小山町の富士テクニカルセンターにて、水素エンジンの受託試験環境を構築
- 2022年10月 更なるお客様の課題解決に向けて、会社組織内に経営管理本部を設置
執行役員に森川、経営管理本部室長に荻堂がそれぞれ就任
- 2023年1月 モータベンチ事業をローンチ
- 2023年1月 静岡県小山町に富士テクニカルオフィスを開設
- 2023年4月 日本内燃機関連合会に加盟のご承認を頂き、正式会員となる。
- 2023年6月 大阪府堺市に関西テクニカルオフィスを開設
- 2023年6月 環境省プロジェクトの第二ステージ完了まで部分的に参画
- 2023年12月 執行役員の森川が役職定年



日本初の水素エンジントラック実証の一部に参画

沿革

- 2024年5月 Phenicie-tech（中国）と業務提携。中国国内を中心に当社製品の販売とサービスを開始
- 2024年6月 FEV Group（ドイツ）がFEV STS（Software & Testing Solutions）をCertina Group（アメリカ）へ売却したことにより、FEV Japan株式会社との契約を解消。STS SAS社と代理店契約を締結。
- 2024年7月 アフリカセネガルにTokyo Plant Senegal-SARLを設立。事業の多角化を開始。
- 2024年9月 Japan Hydro株式会社様の水素エンジンR&Dセンターの立ち上げプロジェクトに参画。



開所式の様子



開所式の様子

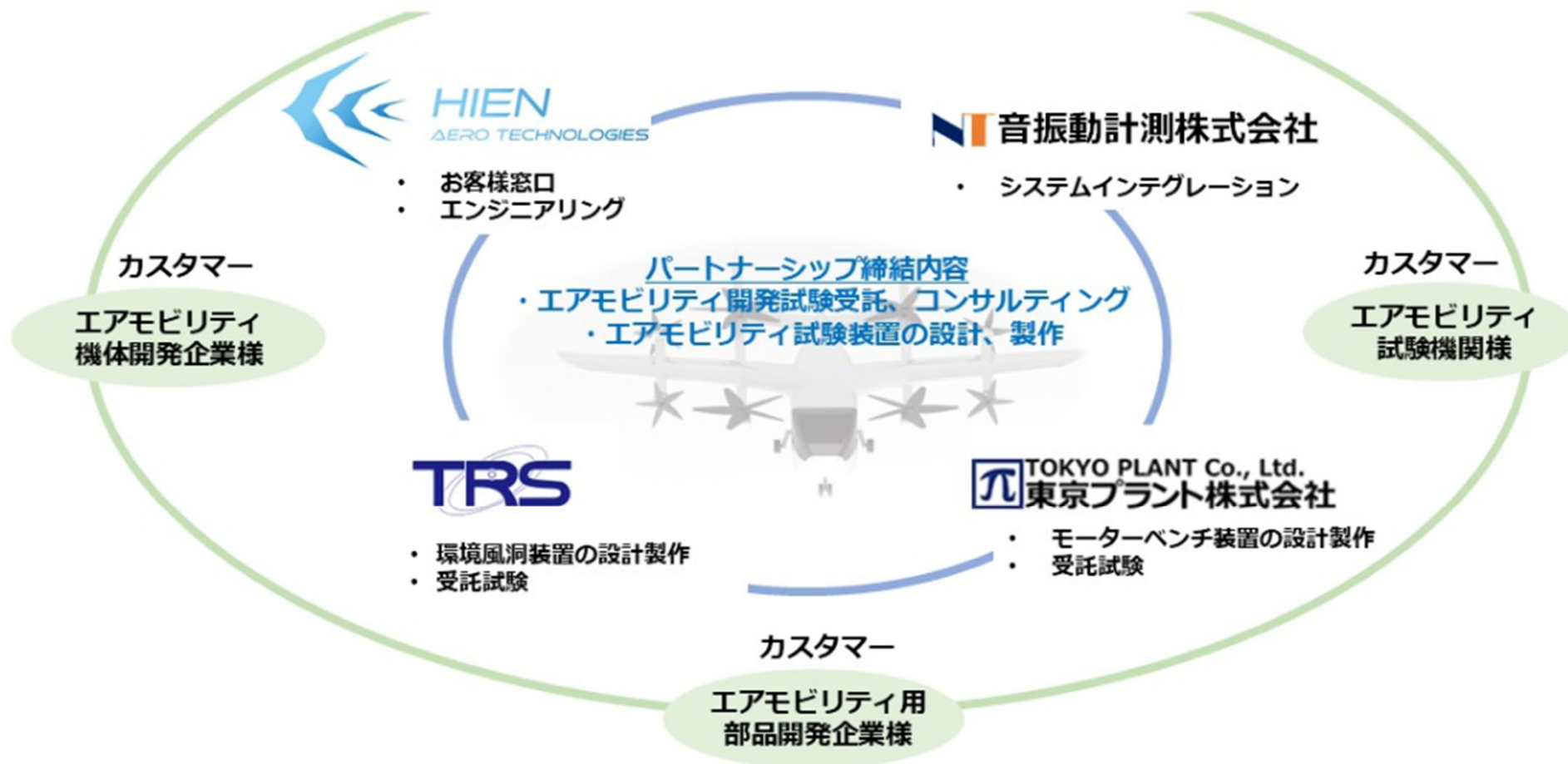
- 2024年12月 STS SAS社がENORISEに社名変更し、ENORISE社と改めて代理店契約を締結。



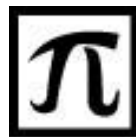
沿革

2025年1月 HIEN Aero Technologies株式会社、NT音振計測株式会社、ツクバリカセイキ株式会社と業務提携
国内外で発展するエアモビリティECOシステムを見据え、eVTOL機体/要素開発・試験環境の構築に関して
パートナーシップを構築し、ソリューションを提案を開始。

エアモビリティECOシステムの活性化



2025年6月 2つの事業部のシナジー効果を強化するため、PTE事業部を廃止。
PTE事業部はTBE事業部の技術部に集約。



Since 1948